

2018年度 第2四半期

不二サッシグループ 決算説明資料

2018年11月6日

不二サッシ株式会社

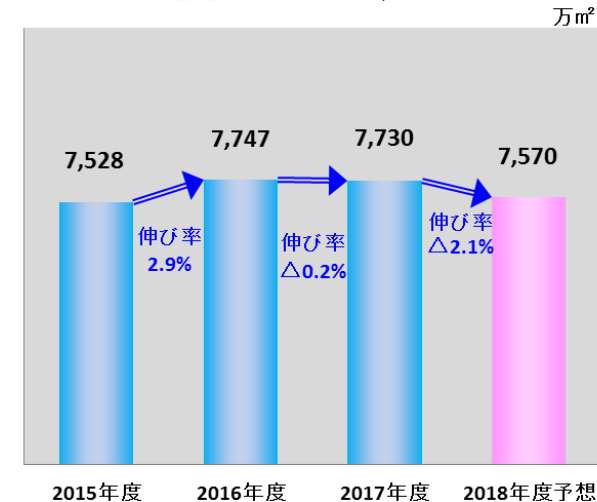
I. 2018年度 第2四半期決算の概要

2018年度における事業環境

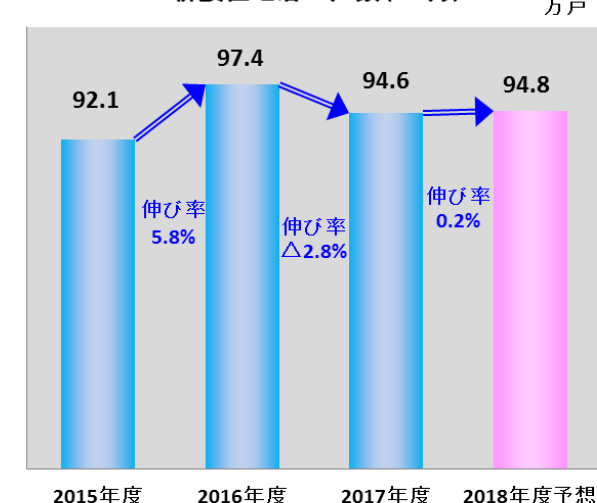
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 予想
非木造建築物着工床面積(万㎡)	7,528	7,747	7,730	7,570
前年比(伸び率)	-3.6%	2.9%	-0.2%	-2.1%
新設住宅着工戸数(万戸)	92.1	97.4	94.6	94.8
前年比(伸び率)	4.6%	5.8%	-2.8%	0.2%

- 建設投資の先行指標である非木造建築物着工床面積は、工場や宿泊施設は伸びているものの事務所や店舗、倉庫等は弱含みであり、前年度対比で減少を見込んでいます。
- 新設住宅着工戸数は、2018年度は消費税増税前の需要が見込まれ戸建は引き続き堅調なものの、マンションの落ち込みが大きく、全体では横這いと見込んでいます。

非木造建築物着工床面積(4-3月)



新設住宅着工戸数(4-3月)



2018年度 第2四半期決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2017年度上期		2018年度上期			
	実績		実績		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	40,288		40,363		75	100.2
売上原価	34,183	84.8	34,821	86.3	638	101.9
売上総利益	6,104	15.2	5,541	13.7	△563	90.8
販管費	6,395	15.9	6,563	16.3	168	102.6
営業利益	-290	-0.7	-1,021	-2.5	△731	-
経常利益	-390	-1.0	-1,066	-2.6	△676	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-193	-0.5	-1,386	-3.4	△1,193	-

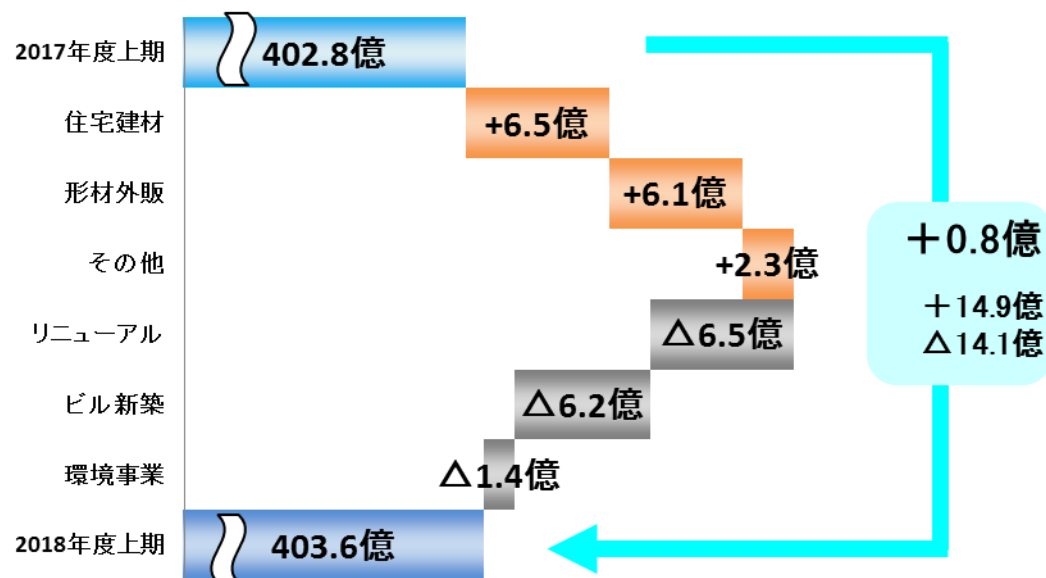
- 第2四半期の業績は、住宅建材の売上が伸びたものの、ビル新築や形材外販の厳しい受注競争及びアルミ地金市況変動、商品開発投資等による固定費増加の影響を受けました。

セグメント別売上高

【連結】 (百万円)

	売上高		
	2017年度 上期実績	2018年度 上期実績	対前年比
建 材 事 業	27,580	26,950	97.7% △ 630
形材外販事業	10,291	10,903	105.9% 612
環 境 事 業	1,467	1,328	90.5% △ 139
そ の 他 事 業	948	1,180	124.5% 232
合 計	40,288	40,363	100.2% 75

■ 売上高増減分析(前年比)

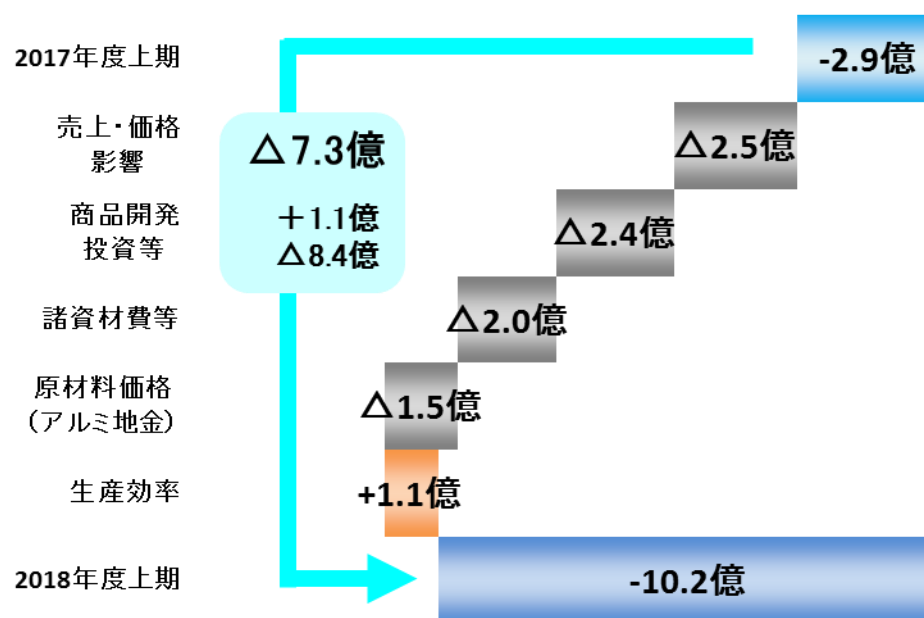


- 建材事業の売上高は、住宅建材事業は高断熱商品の拡販により堅調に推移しました。
一方、ビル新築事業及びリニューアル事業については競争の激化などにより、減少となりました。
- 形材外販事業の売上高は、アルミ加工品の物量増加や、アルミ地金市況に連動した販売単価の上昇により増加しました。
- 環境事業の売上高は、焼却施設市場の変化により事業環境が厳しさを増していることから減少となりました。

セグメント別営業利益

■ 営業利益増減分析(前年比)

【連結】 (百万円)			
	営業利益		
	2017年度 上期実績	2018年度 上期実績	対前年比
建 材 事 業	216	-140	-64.8% △ 356
形材外販事業	96	-128	-133.3% △ 224
環 境 事 業	61	-8	-13.1% △ 69
そ の 他 事 業	31	55	177.4% 23
(消去又は全社)	(696)	(799)	(103)
合 計	-290	-1,021	352.1% △ 731



- 建材事業は、ビル建材事業の競争激化や商品開発投資等の固定費増加により営業損失となりました。
- 形材外販事業は、一般形材の物量減少や特定設備の定期メンテナンスの影響、諸資材価格の上昇などから営業損失となりました。
- 環境事業は、事業環境の変化による競争激化や、営業体制強化のための先行投資などから営業損失となりました。

2018年9月 決算財務状況

(百万円)

	2018年 3月末	2018年 9月末	前期末比
現預金	14,787	12,926	△1,860
総資産	90,945	90,288	△656
利益剰余金	15,993	14,545	△1,447
純資産	19,320	17,725	△1,595
自己資本	19,161	17,595	△1,566
有利子負債	23,354	21,700	△1,654
自己資本比率(%)	21.1	19.5	△1.6
1株あたり純資産(円)	151.8	139.5	△12.3

II. 2018年度(平成31年3月期)の業績予想

2018年度 連結通期業績予想修正について

【連結】

(百万円)

	2018年度通期								
	修正予想		公表	公表比		前年実績		前年比	
		売上比		増減額	%		売上比	増減額	%
売上高	100,000		100,000	0	100.0	98,137		1,862	101.9
営業利益	700	0.7	1,500	△800	46.7	1,770	1.8	△1,070	39.5
経常利益	700	0.7	1,400	△700	50.0	1,862	1.9	△1,162	37.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	300	0.3	800	△500	37.5	1,639	1.7	△1,339	18.3

※配当については、期初公表通り1円50銭の期末配当を予想しております。

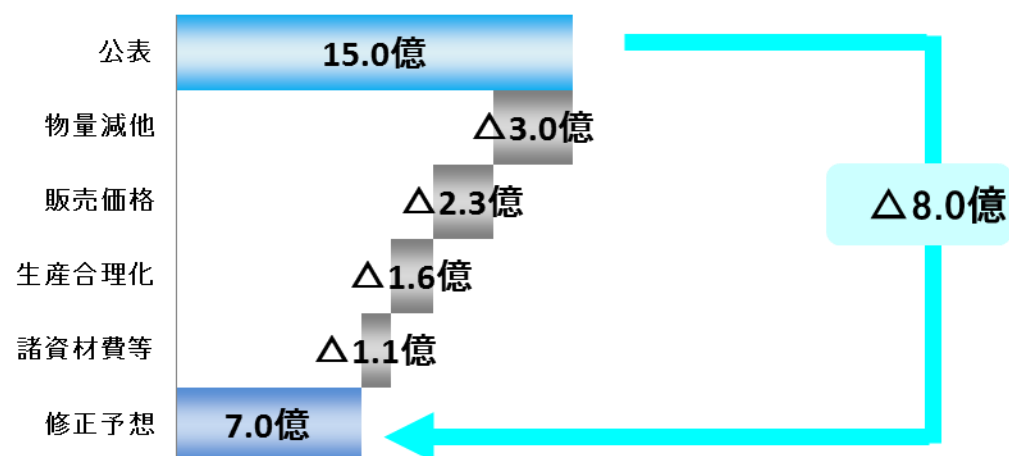
2018年度 連結通期業績予想 – 営業利益(公表比)

【連結】

(百万円)

	営業利益		
	2018年度通期		
	公表	修正予想	公表比
建 材 事 業	2,100	1,880	89.5%
			△ 220
形材外販事業	630	200	31.7%
			△ 430
環 境 事 業	80	100	125.0%
			20
そ の 他 事 業	80	70	87.5%
			△ 10
(消去又は全社)	1,390	(1,550)	(2,940)
合 計	1,500	700	46.7%
			△ 800

■ 営業利益予想増減分析(公表比)



- 営業利益は期初の計画に対して、形材外販事業の物量減やビル建材事業及び形材外販事業の競争激化、諸資材費の高騰等の要因が重なり、また生産合理化が計画通りに進まず、8億円の減少を見込んでいます。

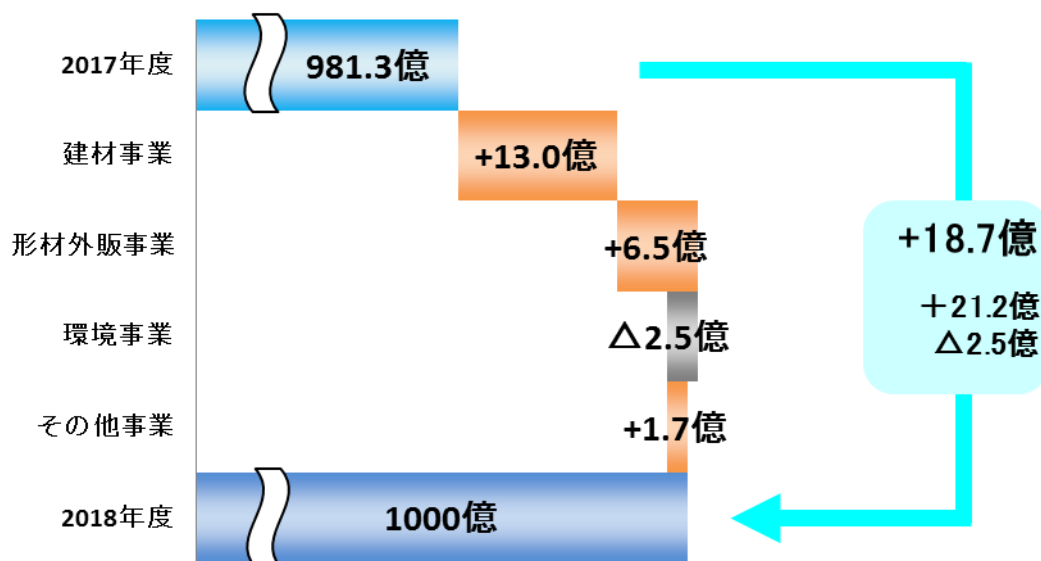
2018年度 連結通期業績予想 - 売上高

【連結】

(百万円)

	売上高		
	2017年度 通期実績	2018年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	70,904	72,200	101.8% 1,296
形材外販事業	21,845	22,500	103.0% 655
環 境 事 業	3,353	3,100	92.5% △253
そ の 他 事 業	2,033	2,200	108.2% 167
合 計	98,137	100,000	101.9% 1,863

■ 売上高予想増減分析(前年比)

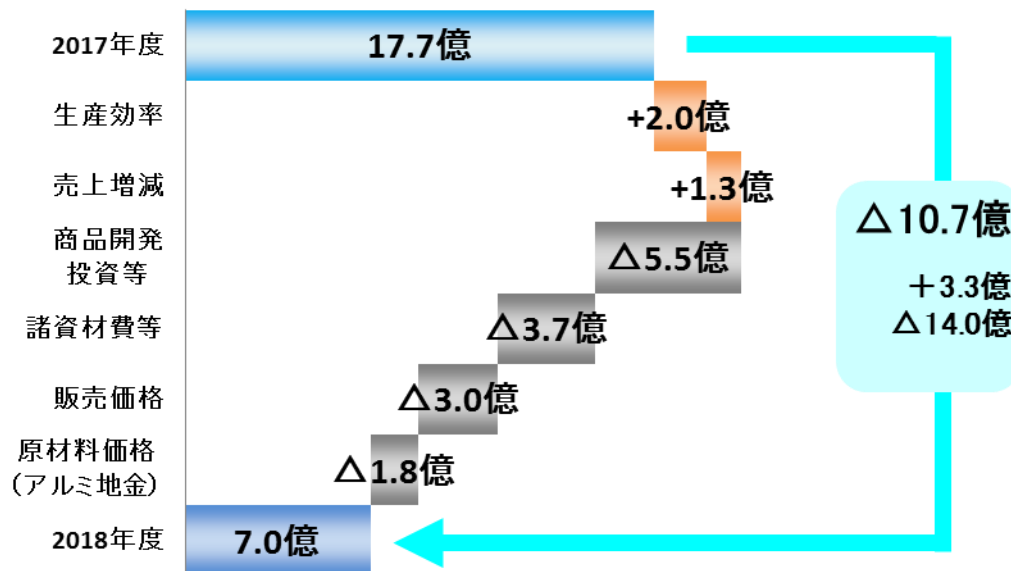


- 建材事業は、ビル建材事業の受注確保と住宅建材事業の拡販により、増収を見込んでいます。
- 形材外販事業は、アルミ加工品の物量増加や新規顧客開拓により、増収を見込んでいます。
- 環境事業は、引き続き厳しい事業環境が予想されることから、減収を見込んでいます。

2018年度 連結通期業績予想 – 営業利益

■ 営業利益予想増減分析(前年比)

【連結】 営業利益 (百万円)			
	2017年度 通期実績	2018年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	2,555	1,880	73.6%
			△ 675
形材外販事業	398	200	50.3%
			△ 198
環 境 事 業	204	100	49.0%
			△ 104
そ の 他 事 業	50	70	140.0%
			20
(消去又は全社)	(1,438)	(1,550)	(112)
合 計	1,770	700	39.5%
			△ 1,070



- 営業利益は、生産効率の向上により利益率の改善を図るものの、ビル建材事業及び形材外販事業の競争激化や原材料価格の上昇、商品開発投資等による固定費の増加により、7億円を見込んでいます。

III. トピックス

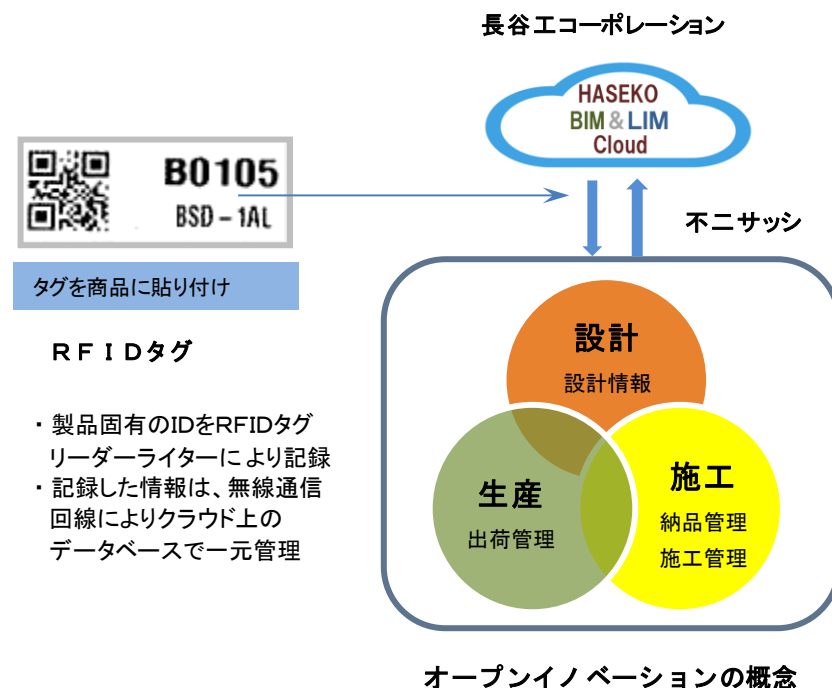
長谷エコーポレーションが推進するオープンイノベーションによるICT活用 RFID(電子タグ)を用いた建設部材の一元管理の実証を開始

2018年10月5日

- 不二サッシ(株)は、(株)長谷エコーポレーションが実証を開始したICT技術を活用した「RFID(電子タグ)」*1を用いた建設部材の一元管理を、「オープンイノベーションパートナー」として自社商品の生産及び施工で実証を開始します。
- 国内において、生産コストは労働力不足により材料、輸送と様々な面で絡み合い上昇しています。これに対して、ICT技術を社内の既存システムに組み込み、有効性について検証を推進していきます。
- 今回の検証は(株)長谷エコーポレーションが推進している「長谷工版BIM」*2への組み込みにより両者間の生産効率向上への相乗効果が期待されます。

*1 Radio Frequency Identification; 無線を利用して非接触でデータを読み書きする自動認識技術を用いたタグ

*2 BIMの特徴である連動性・可視性・一元性に加え、長谷エグループの設計・施工のノウハウを組み込むことで設計品質と生産効率を向上



新素材・マグネシウム

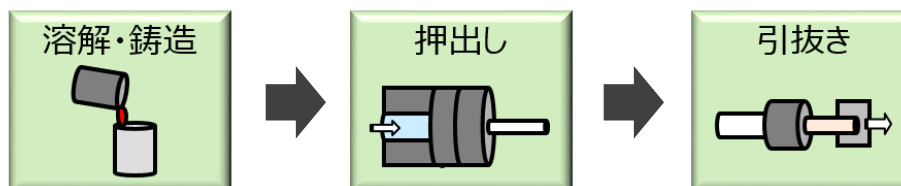
2018年6月5日

マグネシウム製医療機器部材の技術研究および研究設備導入について

不二ライトメタル(株)は、2014年度に、(国研)産業技術総合研究所との共同研究によりマグネシウム合金の長尺細管押出技術を開発し、さらにNEDO事業「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」において、この技術を展開させ、自社内での医療機器向けのマグネシウム合金部材の成形技術開発等を進めてまいりました。

また今回、同社はマグネシウム合金製医療機器部材の素材作製から加工までの一貫製造・供給を行うための研究設備を自社内に導入しました。

管・棒・線材の量産技術の開発に取り組むとともに、当該材料を用いた革新的低浸襲性治療の拡大へ貢献すべく、その研究を加速させてまいります。



全工程の設備を自社に導入することで、研究開発を加速

2018年6月12日

難燃性マグネシウム合金について～世界最大級、難燃性マグネシウム合金を使った高速鉄道車両部分構体の試作に成功～

不二ライトメタル(株)は、この度、同社が採択を受け実施しているNEDO事業「革新的新構造材料等研究開発」において、参画機関各社と共に難燃性マグネシウム合金を用いた新幹線車両と同一断面サイズのモックアップ構体の試作に成功しました。

この構体は、難燃性マグネシウム合金を使った世界最大級の大型構造部材であり、マグネシウム合金製高速鉄道車両構体の実用化に向け大きな一歩となります。

不二ライトメタル(株)は、難燃性マグネシウム合金ビレットの大型押出しの成形加工技術の開発を担当しております。



新グループ会社

2018年6月1日

当社連結子会社による北海道住宅サービス(株)の株式の取得(孫会社化)

不二サッシ(株)の連結子会社である北海道不二サッシ(株)は、北海道住宅サービス(株) (北海道・札幌／社長：三上哲夫)の全株式を取得し、同社を完全子会社化(当社の孫会社化)いたしました。

当社グループは、主力事業の建材事業を中心に、アルミ型材・加工品事業、環境事業を積極的に展開しております。北海道不二サッシ(株)においては、北海道地区を営業エリアとして、ビル用建材、住宅用建材の販売および当社グループの生産拠点としてアルミサッシの加工・組立を行っております。

一方、北海道住宅サービス(株)は、北海道・札幌市内を中心に、業暦41年、施工実績4万件以上を誇るリフォーム専門会社として、営業活動を展開しております。

当社グループでは、今回の株式取得が、北海道地区のリニューアル事業の拡大および顧客基盤の拡大など、地域戦略の強化につながるものと考えております。

株式取得日 : 2018年5月31日

2017年度売上高実績 : 北海道不二サッシ(株) 36億円、北海道住宅サービス(株) 5億円

2018年7月3日

当社連結子会社による高槻ダイカスト(株)の株式取得(持分法適用会社化)

不二サッシ(株)の連結子会社である不二ライトメタル(株)は、すでに一部出資しております高槻ダイカスト(株) (大阪・高槻／社長：松野卓実)の株式を追加取得し、同社を当社の持分法適用会社化することを決議いたしました。

不二ライトメタル(株)はアルミ押出型材及び加工品・精密加工品を主力製品としており、高槻ダイカスト(株)はダイカスト分野での高い技術力を保有し、高品質のダイカスト製品を提供しております。両社が協業を推進することで、設計段階でダイカスト部材と押出型材の提案が可能となり、更にはコラボ製品の開発により顧客ニーズに幅広く対応でき、新商品展開など、将来に向けた両社の収益向上が期待できます。今回の株式取得は、当社グループの型材外販事業の強化に繋がるものと考えております。

株式取得日 : 2018年7月3日

出資比率 : 13.0%から32.2%へ引き上げ

2017年度売上高実績 : 不二ライトメタル(株) 276億円、高槻ダイカスト(株) 20億円

商品情報等

- 2018年6月4日** **不二ライトメタル オリジナル製品「アルミ製ソーラー架台」が「熊本県工業大賞」を受賞**
 不二ライトメタル(株)のオリジナル製品「アルミ製ソーラー架台」が、熊本県工業連合会から、優れた新製品を対象とした2017年度の「熊本県工業大賞」に選ばれました。
- 2018年6月6日** **ー異業種分野の3社コラボレーション、共同開発商品を展開ー**
～建築ファサードに光の演出を加える『アルビーム』に新たなバリエーション～
 不二サッシ(株)は、(株)遠藤照明・フィグラ(株)との協業における共同開発の第一弾として、建築ファサードに新しい光の演出を加える『アルビームカーテンウォールトランザムタイプ』を発売しました。
 『アルビーム カーテンウォールトランザムタイプ』は、カーテンウォール無目部材に高出力LEDを内蔵し、開口部に特殊な専用レンズを搭載することにより3種類の光の演出パターンを実現します。
- 2018年6月11日** **シャープなファサードを提供するビル用カーテンウォールを新発売**
 不二サッシ(株)は、優れた眺望性に加えデザイン性や断熱性能を高めたスリムな見付のカーテンウォール「Comfort N(コンフォート エヌ)」「グリッドタイプ」及び「FNS-Ⅱ70 CF」(横連窓タイプ)を発売しました。
 枠の見込み寸法は、広く普及している70mmのまま、外観見付寸法は方立・無目共に65mmで統一、内観(室内側)からは可動障子の框が見えない構造としました。ガラス面が大きく、透明感のあるファサードは、新しいシャープなビルデザインを提案すると共に、高い断熱性能を実現した商品です。
- 2018年6月25日** **「平成29年度 日本アルミニウム協会賞」を受賞**
 不二サッシ(株)の「アルミ製高級LED照明器具の開発技術」が「平成29年度 日本アルミニウム協会賞」において「技術賞」を受賞いたしました。
 (受賞対象製品: デスクライトシリーズ アルエア、ペンダントライト i-v)
- 2018年8月31日** **不二サッシ 環境配慮商品のショールームをリニューアルオープン**
 不二サッシ(株)は、東京・京橋にある東京スクエアガーデン6階 京橋環境ステーション「エコテクカン」内のショールームをリニューアルオープンいたしました。
 「エコテクカン」内の不二サッシブースでは、開口部と省エネのLED照明を融合させ新しいファサードやエントランスを造る「アルビームシステム」や、省エネで長寿命である薄型LEDとアルミボディを組合せたデスクライト、ペンダントライトなどの実際に見て確認したいという要望の多い商品を常設展示しています。

商品情報等

2018年9月14日 「第12回キッズデザイン賞」を初受賞

不二サッシ(株)は、「第12回キッズデザイン賞」(主催:特定非営利活動法人キッズデザイン協議会、後援:経済産業省、消費者庁、内閣府)において、窓用引手「イーズ引手」、「Fフロント自動ドア用プロテクトスクリーン」の2商品が「キッズデザイン賞」を受賞いたしました。

2018年10月3日 2商品が「2018年度グッドデザイン賞」を受賞

不二サッシ(株)は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2018年度グッドデザイン賞」において「FNS-Ⅱ100R」、「アルビームカーテンウォールトランザムタイプ」の2商品が受賞いたしました。

◆FNS-Ⅱ100R (2019年3月販売開始予定)

低炭素社会実現に向け、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)及び、集合住宅向けのネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH-M)は、2030年までにCO2削減目標26%(2013年度比)を掲げています。「FNS-Ⅱ100R」はこれに対応するビル向けサッシとして開発した商品です。

マンション、ビル建築に求められる高強度および高耐候性能を担う外部面をアルミ合金、高断熱性能を担う内部面を「樹脂カバー」とする「アルミ樹脂複合構造」を採用しました。

この「樹脂カバー」は経年によるサッシ強度への影響が全く無い構造としている一方、交換も可能であり、後のリフォーム、リノベーション時に、より一層快適な空間の提案を可能とした商品です。

また、「FNS-Ⅱ100R」は、高層マンション等、高層建築への対応も可能とした商品です。



◆アルビームカーテンウォール トランザムタイプ (2018年7月販売開始)
(株)遠藤照明、フィグラ(株)との共同開発商品 「アルビームカーテンウォール トランザムタイプ」は、無目部材に内蔵したLED照明と、光の出口に装着した独自設計レンズで光の照射角度をコントロールし、レンズと照射を変えることで天井面、ガラス面、サッシフレームの三種類の演出を可能にしました。
光源は屋内側にありながら、ビル外観意匠に光の演出を加える商品です。

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ